

研究会報告

京大・基研短期研究会

「非線形緩和過程の統計物理」

1982. 7. 19 ~ 21

世話人 有光敏彦・北原和夫
柴田文明・富田博之・古川 浩

プログラム (○印は総合報告)

- ① 北原和夫 (静大・教養)
非平衡系における確率過程の諸問題
2. 石井一成 (九大・理)・北原和夫 (静大・教養)
有色雑音下での非線形緩和の厳密解
3. 原 啓明 (東北大・工)
緩和機構をもったランダム・ウォークの理論
4. 大林康二 (広大・総合)
ブラウン運動の非マルコフ性と非線形緩和
5. 富田博之 (京大・教養)
反応係数に周期外力をもつ非線形反応系
6. 笹川文義 (東大・理)
準安定状態近傍のゆらぎと緩和
7. 柴田文明 (お茶の水大・理)
非平衡統計力学の最近の話題 — TCおよびTCL方程式をめぐって
8. 浜野洋子 (東大・教養)・柴田文明 (お茶の水大・理)
スピン緩和理論の諸問題 — コリンハ関係式の拡張など
9. 森田昭雄 (秋田大・教育)
電気複屈折で観測される非線形動力学過程
- ⑩ 矢島達夫 (東大・物性研)
非線形分光法による超高速緩和現象の研究